

NISA（一般・つみたて）の現状

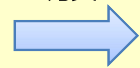


平成30年7月

NISA（一般・つみたて）の口座数

■ 平成30年1～3月に開設されたつみたてNISAの口座数は、**約51万口座**。

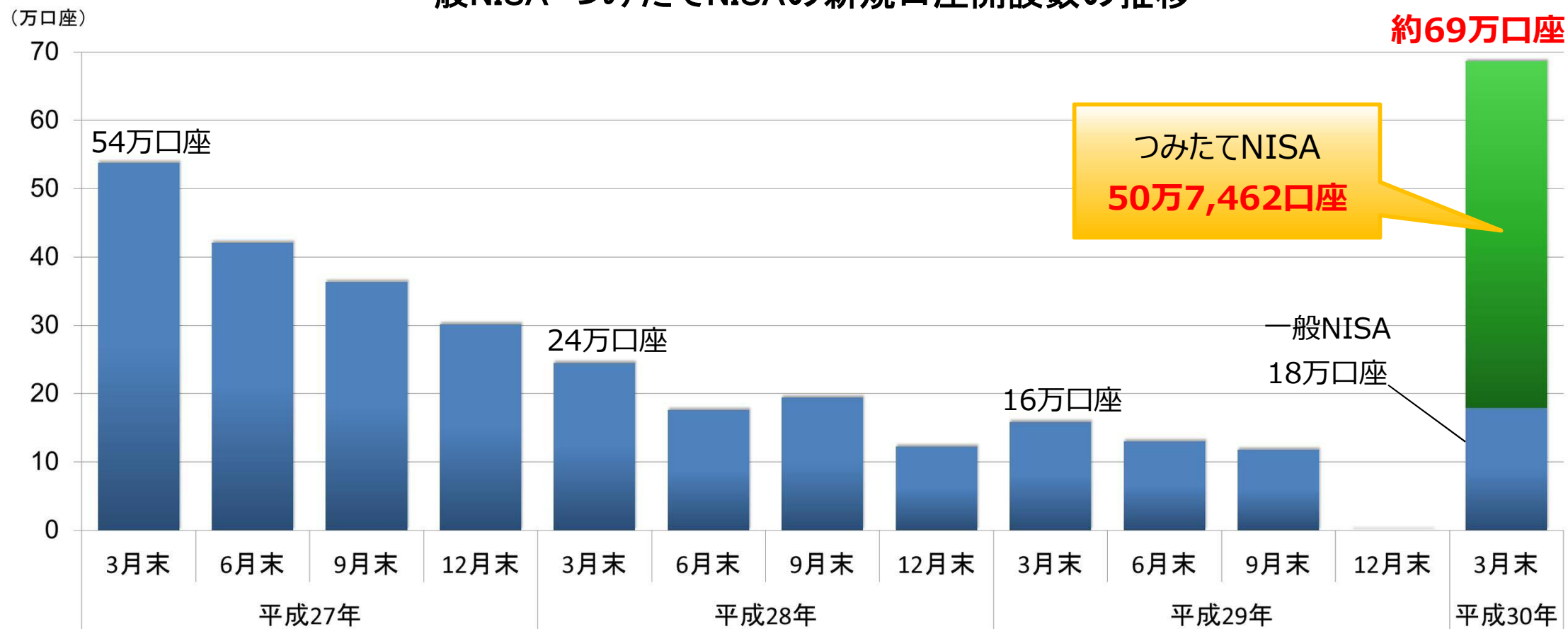
■ 一般NISAの口座数と合わせると、**約69万口座**。



つみたてNISAが、NISA口座数全体の増加に大きく寄与。

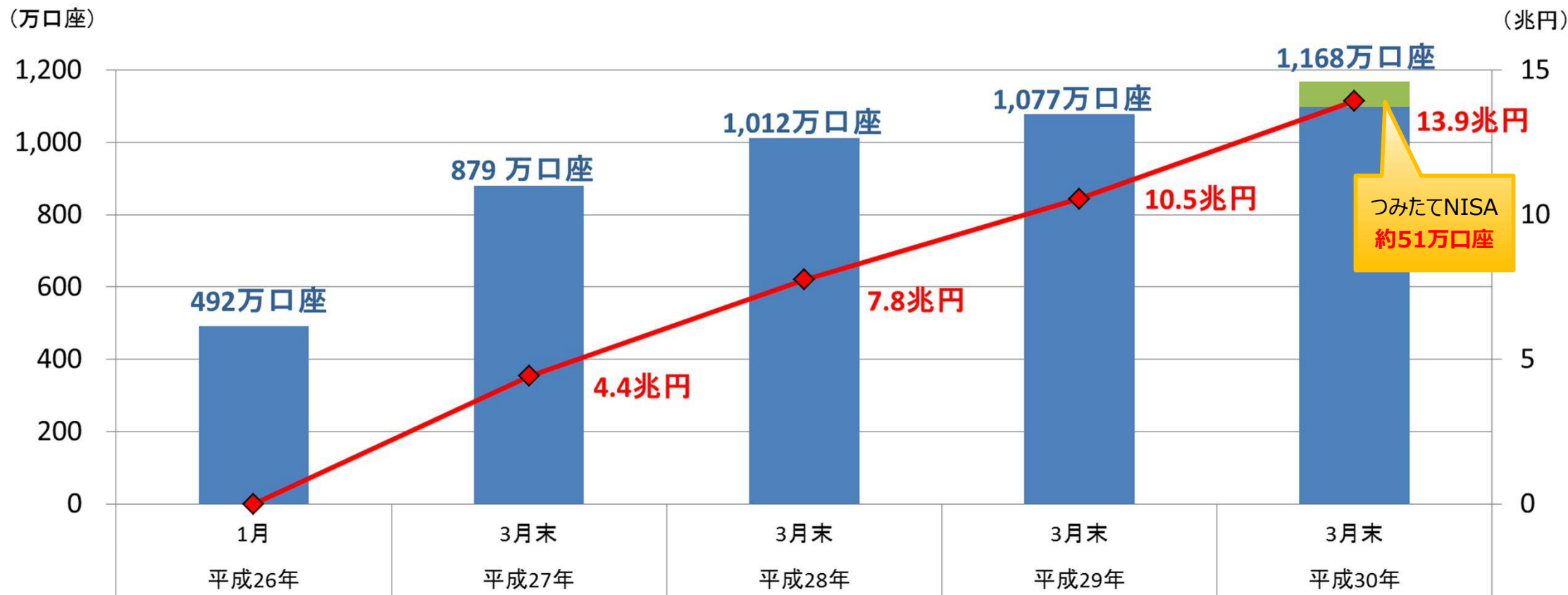
(参考) iDeCo：平成29年1月に加入者範囲を拡大、同年中に約50万人が利用開始し、平成30年4月時点の加入者は約90万人。

一般NISA・つみたてNISAの新規口座開設数の推移



(注) 平成29年10～12月末については、平成30年以降もNISA口座を利用するには住民票の再提出が法律上求められていたことから、同期間中には税務当局において膨大な確認事務が発生することが予見されたため、29年分の新規口座開設を受け付けないとされた期間

NISA（一般・つみたて）口座数及び買付額の推移（平成30年3月末時点）



（注）平成30年3月末以降の口座数及び買付額は、同年1月のつみたてNISA開始に伴い、一般NISAとつみたてNISAの合計値を表示。

【NISA（一般・つみたて）】

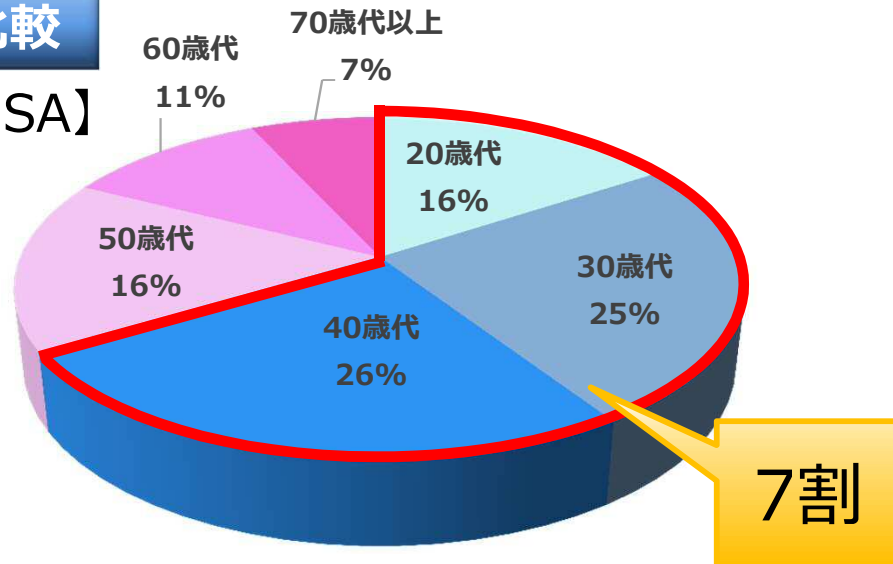
- 総口座数は、1,167万9,355口座（平成29年3月末時点から、約91万口座、8.4%増）
うち、つみたてNISAの口座数は、50万7,462口座
- 総買付額は、13兆9,398億9,223万円（平成29年3月末時点から、約3兆3,929億円、32.2%増）
うち、つみたてNISAの買付額は、110億9,681万円

つみたてNISA口座開設者の傾向について

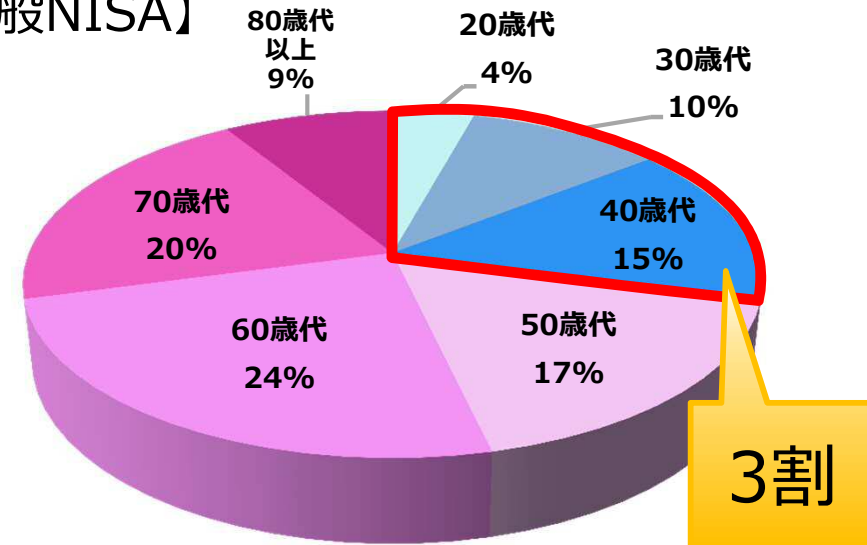
- 一般NISAと比べ、つみたてNISAは20代～40代による口座開設の割合が多い。
 - つみたてNISAの新規口座開設者と、一般NISA（非稼働）からの切替を合計すると、約8割。
- つみたてNISAの開始を契機に、新たに投資を行う層が広がりつつある。

世代別比較

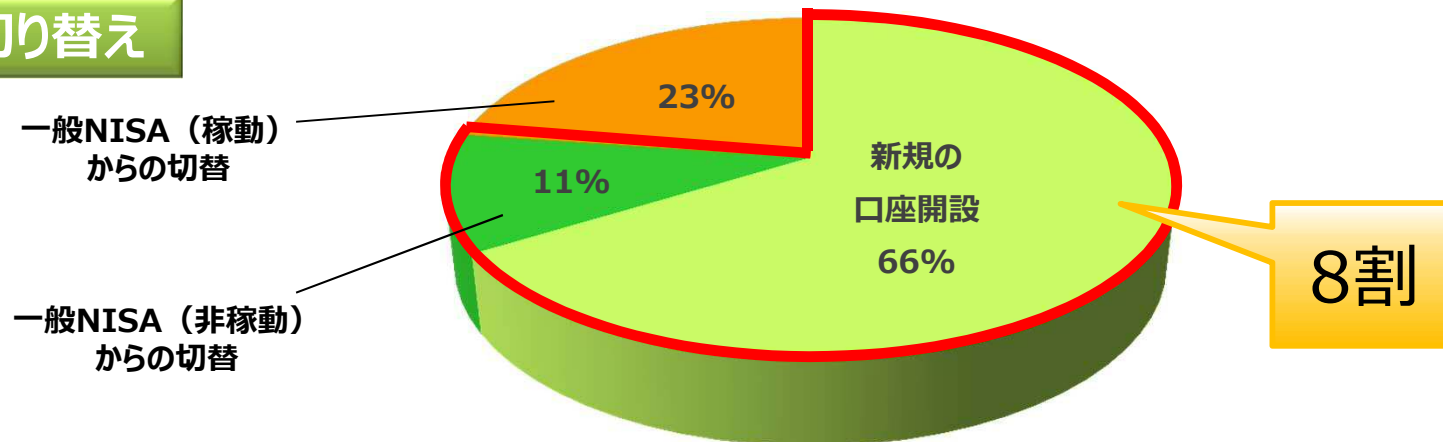
【つみたてNISA】



【一般NISA】



新規開設/切り替え



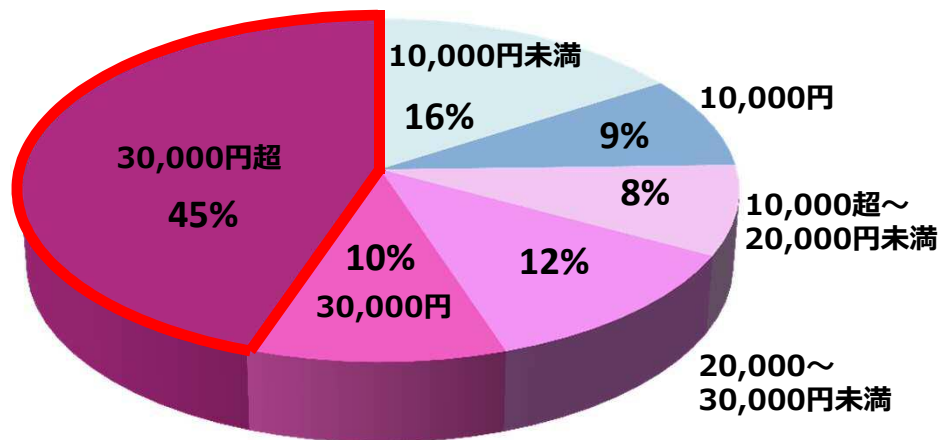
※ つみたてNISAについては、主な金融機関へのヒアリングベース（平成30年5月末時点）
一般NISAについては、全金融機関調査（平成30年3月末時点）

つみたてNISAにおける毎月の積立投資金額について

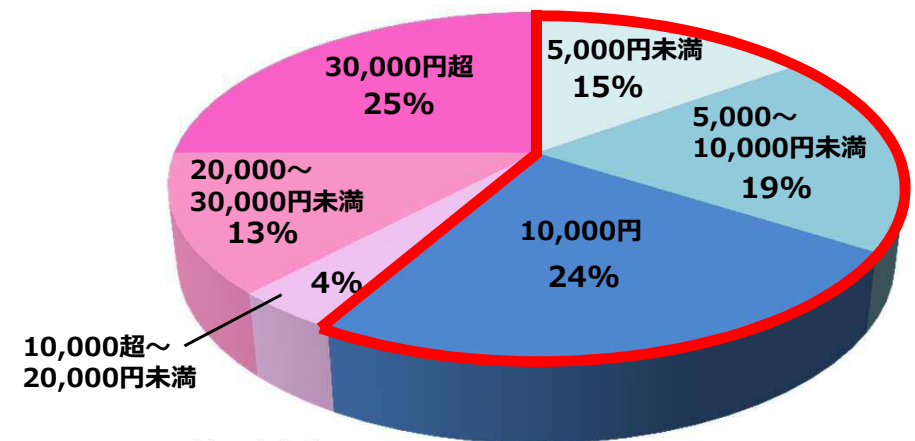
- 毎月の投資金額を限度額（30,000円超）まで利用する顧客が多い金融機関（A社）のほか、10,000円以下の少額で利用する顧客が多い金融機関（B社、C社）も見られる。

→ 少額からの積立投資を含めて、つみたてNISAが有効に活用されている。

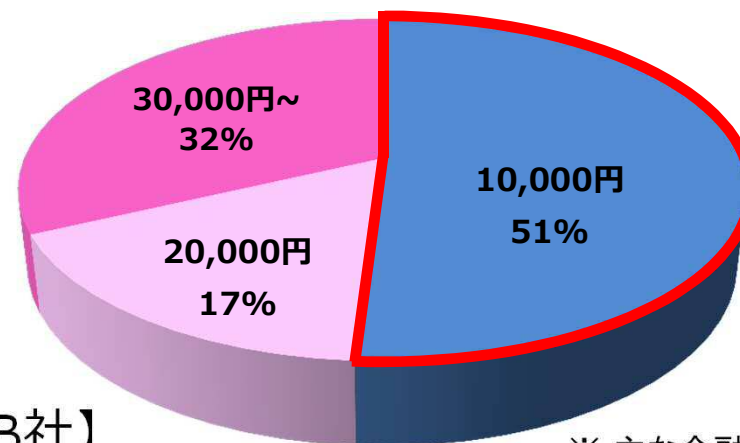
毎月の積立投資金額の割合比較



【A社】



【C社】



【B社】

※ 主な金融機関へのヒアリングベース(平成30年5月末時点)